

令和2年度におけるカラス生息状況調査結果概要

● 調査の目的と内容

長野県では、令和2年度の秋から冬にかけて、カラスによる被害対策立案のための基礎資料を得るために、カラスの生息状況や被害状況の調査を行いました。
調査は、長野市、須坂市、小布施町、中野市の主に平地の農地とその周辺で行いました。



● 長野市周辺に生息するカラス

1年を通して生息するハシボソガラスとハシブトガラスを広い範囲で確認したほか、小布施町や中野市の水田では、大陸から冬を越すために渡来するミヤマガラスの3種を確認しました。



▲ハシボソガラス



▲ハシブトガラス



▲ミヤマガラス

● 長野市周辺におけるカラス集団ねぐら

秋から冬にかけて、長野市3箇所、須坂市、小布施町、中野市で各1箇所の合わせて6箇所のカラスの集団ねぐらを確認しました。



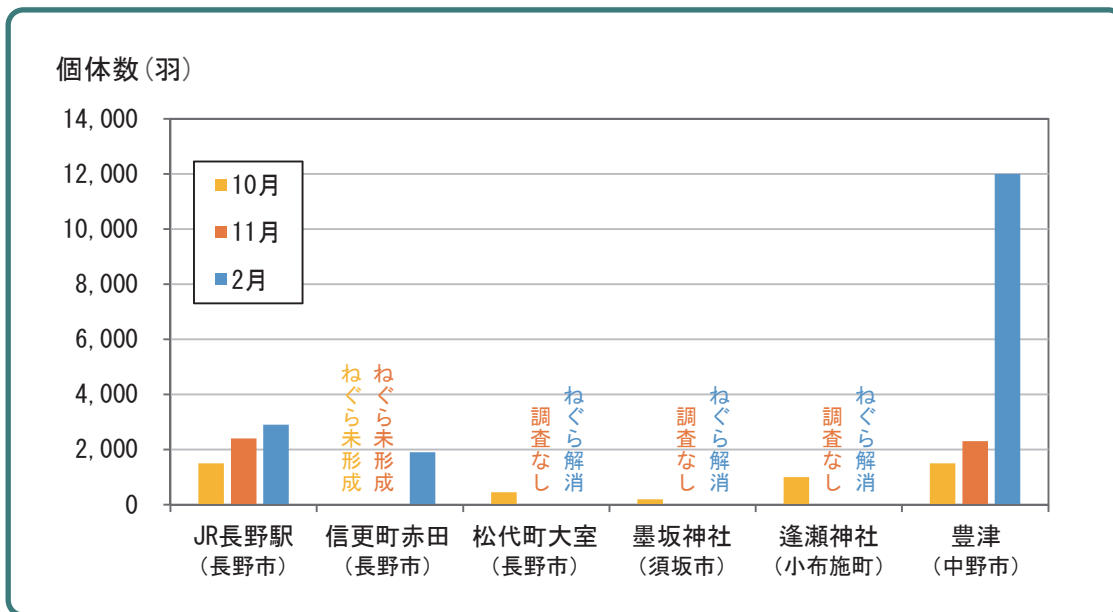
長野市周辺で確認されたカラスの集団ねぐら

長野市周辺におけるカラスの集団ねぐらと個体数

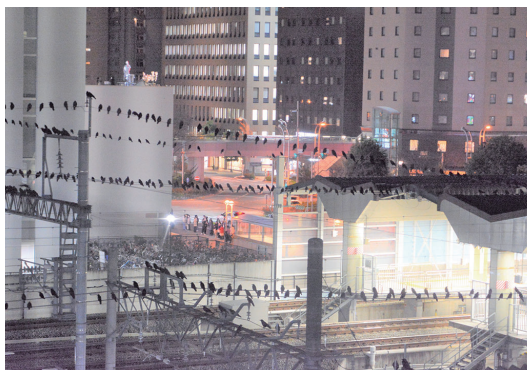
カラスの集団ねぐらは、10月は5箇所、2月は3箇所を確認しました。

集団ねぐらは、JR長野駅を除いて樹林が利用されており、そのうち須坂市と小布施町では市街地の社寺林が利用されていました。

集団ねぐらの個体数は2月に最も多くなり、3箇所の集団ねぐらを合わせるとおよそ17,000羽のカラスが集まるのを確認しました。約40年前に長野市周辺で確認された集団ねぐらの個体数と比べておよそ2倍となりました。



カラス集団ねぐら個体数の季節変化



JR長野駅ねぐら (令和2年11月)



豊津ねぐら (令和2年10月)



松代大室ねぐら (令和2年10月)



信更町赤田ねぐら (令和3年2月)

長野市周辺におけるカラスの生活のようす

長野市やその周辺では、年間を通してカラスが生息しています。カラスによるゴミ集積場でのゴミ漁りや農作物を食べてしまう被害は以前より起きていましたが、カラスの個体数が増えたこともあり、特に農作物への被害が増える傾向がみられます。

最近では、JR 長野駅のような市街地でもカラスの集団ねぐらがつくられるようになり、ねぐら周辺では大量のカラスの糞が家屋や路上に落ちるなどの被害が起きています。

このような被害は、カラスが群れて生活するようになる秋から冬にかけて多くみられます。

秋

- 収穫期が近くなると、ブドウやリンゴなどの果樹園にカラスが飛来することが多くなり、収穫前の果実を食害することがあります。
- 夕方になると多くのカラスは集団でねぐらをとります。集団ねぐらの多くは山地の林ですが、最近では長野市中心街の JR 長野駅や須坂市、小布施町の市街地の神社などでも確認されています。



リンゴ畑に飛来したハシボソガラス
(令和2年10月 須坂市)



JR 長野駅をねぐらにするハシボソガラス
(令和2年10月 長野市)

冬

- 冬になるとカラスは大きな群れで生活することが多くなります。
- カラスにとって餌が最も乏しくなるこの時期は、果樹園に残された廃果や田畑に置かれた生ゴミなどがカラスにとって重要な餌になります。これらの廃果や生ゴミを求めてカラスが農地へ飛来することもあり、時には作物にも被害を与えることがあります。
- 秋に比べて集団ねぐらに集まる個体数は多くなり、時には 10,000 羽以上が集まることもあります。



コンポストを漁るハシボソガラス
(令和3年2月 長野市)



ねぐら上空に集まったカラスの群れ
(令和3年2月 中野市)

カラスによる被害を防ぐために

今回の調査により、長野市周辺でのカラスは増加していると考えられます。また山地の林などにあったカラスの集団ねぐらが市街地にも造られるようになったことも明らかになりました。カラスによる農作物や住宅地での被害は今後も続くものと考えられます。

カラスによる被害を完全に防ぐことは難しいのが実情ですが、日々の暮らしの中でカラスによけいな餌を与えないように心がけることが重要です。

● 農地での対策

果樹の摘果や廃果などの廃棄した農作物は、カラスにとって秋から冬の主要な餌となっています。農作物をそのまま廃棄することはカラスを農地へ誘引するだけでなく、冬を越すための餌を与えることにもなり、結果としてカラスが増えていくことにもつながります。

農作物はそのまま廃棄するのではなく、土中に埋めるなどの処置をすることが重要です。

また出荷しない農作物についても、そのままにしておくとはカラスの餌になるので、確実に摘み取って処理することが重要です。



リンゴの廃果を食べるハシブトガラス



残されたブドウを食べるハシボソガラス

● 住宅地での対策

住宅地でも、ゴミ集積場や人家の庭でカラスによる被害が発生します。

ゴミ集積場については、物置型のようなカラスからゴミ袋を完全に隔離できるようにするのが最も望ましいですが、設置できない場所ではゴミ袋をネットで覆うことにより被害を防ぐことができます。その際、ゴミ袋がネットからはみ出ていると効果はなくなるので、ゴミ袋をネットで完全に覆うことが重要です。

最近では、人家の庭や周辺に植えられたカキの木には放置されたものがみられます。これらの果実もカラスの餌にならないよう、全て収穫して処理することが重要です。



ネットからはみ出た可燃ゴミ袋



カキの木に飛来したハシブトガラス